

平成 15 年度 食見地区周辺海域調査

1 目的

海浜自然センターでは、平成 12 年度から福井県立大学ダイビングクラブのみなさんに協力していただき、食見地区周辺海域調査を実施している。食見海岸は、常神半島から黒崎半島に囲まれた世久見湾の奥に位置し、湾内にはすぐれた海中景観を有することから、4 箇所 30.2 ヘクタールの海中公園地区が指定されている。これらの海域において、継続した調査を実施し、自然環境の把握に努めることは、自然を保護する上でも普及啓発を進める上でも重要であるといえる。

2 海水温測定

(1) 調査地点および方法

センター地先船着き場内において、可能な限り毎日、午前中に表層から 1 m 以浅で水温の測定を行った。

(2) 結果および考察

図 1 に平成 14 年度および 15 年度の各月の平均水温を示した。1 月の平均水温は 11.3 、2 月 8.9 、3 月 10.6 、4 月 11.5 、5 月 14.7 、6 月 18.8 、7 月 22.7 、8 月 25.1 、9 月 23.3 、10 月 18.3 、11 月 17.5 、12 月 14.6 であった。1 月～4 月にかけては昨年とほぼ同様であったが、5 月～10 月にかけては昨年より 1.5 ～ 3.4 ほど低い値で推移した。11 月～12 月にかけては回復し、昨年とほぼ同様であった。

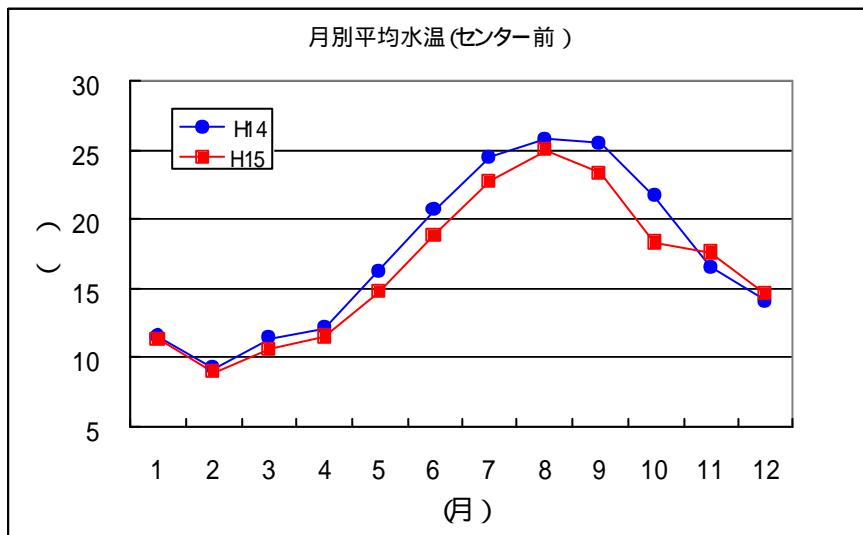


図 1 センター前月別平均水温 (センター前)

3 魚類調査

(1) 調査地点および方法

調査を行った食見海岸は、世久見湾奥の南側に位置する。調査は、海浜自然センター横の渚遊歩道地先海域において船着き場防波堤の付け根から世久見方向にから 150mの範囲で行った。水深は海岸線に平行に深くなつてあり、調査は岸から水深 6 mの範囲で行った。底質は、岩盤、巨礫、転石が混在していた。

調査は、平成 15 年 5 月 15 日、6 月 15 日、7 月 5 日、7 月 11 日、8 月 27 日、10 月 28 日に計 6 回、スノーケリングによる目視調査により実施した。調査時の水温と調査人数、調査時間については、表 1 に示した。

表 1 平成 15 年度食見地区周辺環境調査

日付	水温	調査人数	調査時間
5月11日	14.2	5	13:40 ~ 14:30
6月15日	-	9	11:20 ~ 12:00、14:00 ~ 14:50
7月5日	-	1	13:00 ~ 16:00
7月11日	-	1	13:00 ~ 15:00
8月27日	26.1	8	11:05 ~ 12:00
10月28日	18.8	5	11:30 ~ 12:15

(2) 結果および考察

調査の結果を表 2 に示した。確認種数としては、5 月 10 日の調査では 13 種、6 月 15 日に 16 種、7 月 5 日に 7 種、7 月 11 日に 12 種、8 月 27 日に 23 種、10 月 28 日に 20 種、調査期間を通して 6 目 20 科 35 種の魚類を確認することができた。メバル、メジナ、ウミタナゴ、スズメダイ、ベラの仲間、ナベカ、キヌバリについては、全調査を通してほぼ確認することができた。

魚種ごとに季節的な変動をみてみると、5 月 10 日の調査で河川に遡上前のアユを確認した。6 月 15 日、7 月 5 日の調査では着底前のアゴハゼの幼魚を確認することができた。また、10 月 28 日の調査においては、海藻類（ホンダワラ類）の生長とともにメバル、ホンベラ、アイゴ、カワハギ、アミメハギの幼魚が多数みらるようになった。

夏期を過ぎると食見海岸においても毎年オヤビッチャやソラスズメダイなどの死滅回遊魚がみられるが、今年は7月下旬の早い時期からオヤビッチャがみられ、オヤビッチャの回遊時期としては例年より早い傾向であった。また、ソラスズメダイについては、ほとんどみられず調査においても 10 月 28 日に 1 尾確認されたのみであった。ソラスズメダイについては、他県においても同じような傾向がみられていることから、産卵期に何らかの影響を受けた可能性が示唆される。また、今年度は夏期に県内の他の沿岸海域においても、表面水温が平年より 1 ~ 2 度低い傾向であったことから 1、夏期の低水温が何らかの影響を与えた可能性も考えられる。

今後もこのような調査を通して、データの収集および蓄積を継続し、センター周辺の自然環境の把握に努めていく必要がある。

表2 平成15年度 食見地区周辺海域調査結果(魚類)

目	科	種名	調査日					
			5/10	6/15	7/5	7/11	8/27	10/28
ナマズ	ゴンズイ	ゴンズイ						
キュウリウオ	キュウリウオ	アユ						
トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ	トウゴロウイワシ						
カサゴ	フサカサゴ	メバル						
		カサゴ						
	アイナメ	クジメ						
	カジカ	アサヒアナハゼ アナハゼ						
スズキ	ハタ	キジハタ						
	タイ	クロダイ マダイ						
	メジナ	メジナ						
	ウミタナゴ	ウミタナゴ						
	スズメダイ	スズメダイ オヤビチャ ソラスズメダイ						
	ベラ	コブダイ オハグロベラ ササノハベラ ホンベラ キュウセン						
	タウエガジ	ダイナンギンポ						
	ニシキギンポ	ギンポ						
	ヘビギンポ	ヘビギンポ						
	イソギンポ	ナベカ ホシギンポ						
	ハゼ	アゴハゼ キヌバリ チャガラ						
	アイゴ	アイゴ						
フグ	カワハギ	カワハギ アミメハギ						
	フグ	クサフグ コモンフグ マフグ						
計			13種	16種	7種	12種	23種	20種

参考文献

- 1 浜へのたより 第150号 福井県水産試験場